

田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略案 概要版

1 策定の主旨等 …P1

1-1 策定の主旨

『田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、『田原市人口ビジョン』に掲げた将来人口構想の実現を目指し、今後5カ年における取組の基本方針や具体的な戦略（アクションプラン）を定めるものとする。

1-2 取組期間 平成27年度～平成31年度（5カ年）

1-3 総合戦略の位置付け…P2

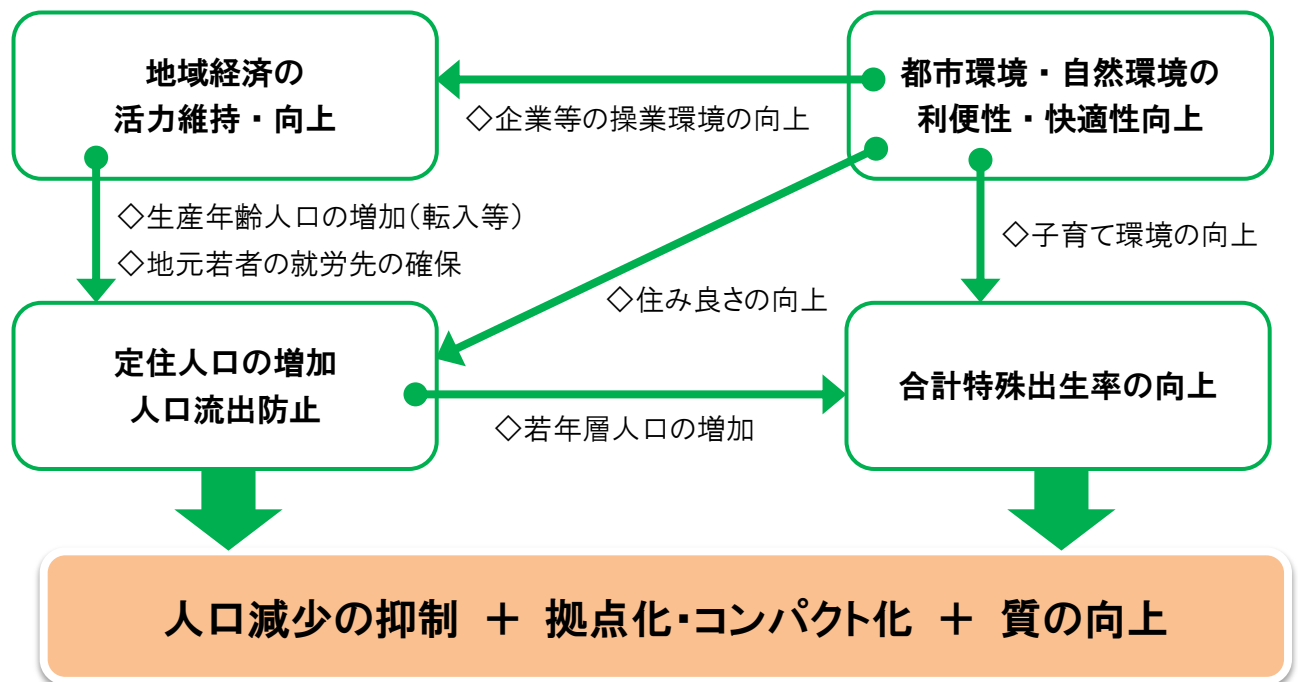
策定にあたっては、国・県の『まち・ひと・しごと創生総合戦略』を勘案しながら、『改定版第1次田原市総合計画』（平成25年3月策定）の基本構想及び基本計画の理念を引き継ぐものとする。

2 基本方針 …P3

2-1 基本的な考え方

- ◆国立社会保障・人口問題研究所による2040年（平成52年）の田原市の推計人口は50,885人となっており、急激な人口減少、高齢化に直面することが予測されている。
- ◆『田原市人口ビジョン』では、総合計画の目標年次である2022年（平成34年）において64,000人を維持し、2040年（平成52年）に60,000人以上を目指すとしている。
- ◆こうした考え方に基づき、『田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、『田原市人口ビジョン』に掲げた「合計特殊出生率の人口置換水準（2.07）への上昇」及び「社会増減の均衡」の実現を図るため、基本方針及び具体的な戦略を定めるものとする。
- ◆まちづくりを支える今後の財政基盤は、交付税の逡減、税制改正等による法人市民税の減少など歳入が縮小する反面、高齢化の進展による社会保障費の増加など義務的経費の増大が予想されており、投資の抑制は避けられない。
- ◆従って、『田原市人口ビジョン』の展望人口を目指して、人口減少対策・人口増加策を進める一方で、現在取り組んでいる公共施設適正化など行財政運営のスリム化や、まちづくりの拠点化・コンパクト化等を図りながらも、市民生活への負担や痛みを伴うことなく市民幸福度を高めていく努力が必要である。
- ◆なお、個別分野におけるまちづくりの推進にあたっては、『田原市人口ビジョン』の展望人口を念頭に置きながらも、現実的な人口動向に基づいて施策立案を行うものとする。

《人口減少対策・人口増加策のイメージ》



2-2 取組姿勢…P4

『改定版第1次田原市総合計画』における分析及び『田原市人口ビジョン』における分析を基に、次の2つを取組姿勢とする。また、本戦略策定のために実施したアンケート結果も反映する。

- 1 (田原市の) 強みを活かす
- 2 (田原市の) 弱みを克服する

2-3 重視する視点…P5

総合戦略に位置付ける具体的な施策の立案・予算化にあたっては、次の5つの視点を重視する。

- 1 田原市全体の持続性（大局的視点）
- 2 選択と集中（局所的視点）
- 3 広域行政圏の一員（広域的視点）
- 4 即効性・加速性（短・中期的視点）
- 5 将来を見据えた投資（長期的視点）

2-4 基本方針…P6

『田原市人口ビジョン』に定める将来人口構想に基づき、次の4つを基本方針とする。

- 1 雇用の創出・就労促進 ～地域において安定した雇用を創出する～
- 2 定住・移住促進 ～人口の流出を防止するとともに、移住を促進する～
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現
～切れ目のない子育て支援で若者の希望をかなえる～
- 4 地域の魅力・住み良さの向上 ～「安心して住める」「住んで楽しい」まちづくり～

2-5 戦略の構成…P7

3 具体的な戦略（アクションプラン）…P8

3-1 雇用の創出・就労促進 …P8 地域において安定した雇用に創出する

1 戦略の重点

- ◆基幹産業である農業、製造業などの地域産業の振興を図る。
- ◆安定した雇用環境や機会の確保、新たな雇用創出につながる施策を推進する。
- ◆市内経済の循環性を高め、新たな産業の起きやすい環境を整備する。

2 方向性（抜粋）

- 臨海工業地帯等への積極的な企業誘致を図る。
- 臨海部の企業などが安心して操業できる環境を整える。
- 農業技術や設備の高度化、海外市場への展開、6次産業化、農商工連携等に努める。
- 農業・漁業の担い手や高度な産業人材の育成を進める。
- 渥美半島の豊富な観光資源を活かして、観光客の獲得、リピーター率の向上を図る。
- 女性の雇用促進及び創業につながる支援策を検討する。

3 戦略の基本目標

- ◆製造品出荷額等
- ◆農産物販売金額
- ◆有効求人倍率
- ◆完全失業率
- ◆観光施設延客数
- ◆年間宿泊者数

4 具体的施策…P10

- 創業支援
- 企業立地の推進・三河港の振興
- 農業後継者・新規就農者の確保・育成
- 農畜水産業強化
- 観光地域づくり
- 道の駅の高質化
- サンテパークたはらの新たな魅力づくり

3-2 定住・移住促進 …P13 人口の流出を防止するとともに、移住を促進する

1 戦略の重点

- ◆臨海企業従事者の市内定着・定住促進を図る。
- ◆美しい自然や地域産業の魅力を発信し、仕事や雇用の確保、住環境・教育環境などの充実を通じて、田原市へのU I Jターンを進める。
- ◆若い世代が田原市で暮らしたいという希望を実現する施策を推進する。

2 方向性（抜粋）

- 市内事業所に勤める従業員の居住先候補地となる市街地の利便性や居住基盤を整える。
- 豊富な自然が身近な住環境の魅力を発信し、全国からのU I Jターンを進める。
- 地元の教育機関と連携して、高校生、大学生の地元進学率や地元就職率を高める。
- 地域の拠点となる市街地の活性化、医療や交通の利便性を高める。
- サーファーやアウトドア志向の若者による交流人口を定住人口に誘導する。

3 戦略の基本目標

- ◆社会増の上積み数
- ◆労働力人口

4 具体的施策…P14

- 若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進
- サーファー等の移住促進
- 空き家活用推進
- ふるさと学習の充実

3-3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 …P16

切れ目のない子育て支援で若者の希望をかなえる

1 戦略の重点

- ◆基幹産業である農業や製造業などに従事する未婚者に対し結婚支援を推進する。
- ◆出産～育児～義務教育期間まで安心して子育てできる環境を整備する。

2 方向性（抜粋）

- 未婚者に対して、結婚相談のほか、出会いの場や相互交流の機会を提供する。
- 母親の妊娠期から子育て時期におけるサポート体制の充実を図る。
- 子育て環境や支援サービスの充実を図る。
- 子どもたちの教育環境の充実を図る。
- 女性の働きやすい環境整備や家庭と仕事の両立を後押しする施策を推進する。

3 戦略の基本目標

- ◆合計特殊出生率
- ◆若年層有配偶率
- ◆若年層の完全失業率

4 具体的施策 …P17

- 結婚・出産支援
- 医療体制の充実（産婦人科・小児科）
- 子育て支援
- ふるさと学習の充実

3-4 地域の魅力・住み良さの向上 …P19

「安心して住める」「住んで楽しい」まちづくり

1 戦略の重点

- ◆拠点となる市街地の活性化や幹線道路、公共交通など交通基盤の充実等により、周辺地域の住み良さ向上を図り地域バランスに配慮する。
- ◆戦略的なシティ・セールスを推進する。

2 方向性（抜粋）

- 田原市街地の中心市街地、福江市街地及び赤羽根市街地の活性化を図る。
- 市内移動や高速道路への時間距離の短縮について調査・研究する。
- 地域ニーズに応じた市コミュニティバスの運行など公共交通の機能向上を図る。
- 防災対策の強化や良好な治安の維持など安心安全なまちづくりを進める。
- 田原市の魅力や価値、ブランドを積極的に市内外へ発信し、知名度向上を図る。
- 愛知県や東三河広域連合等との広域連携により、一体的な地域づくりを図る。

3 戦略の基本目標

- ◆中心市街地の居住人口
- ◆健康寿命の延伸

4 具体的施策 …P21

- 市街地の活性化
- 幹線アクセス向上
- 公共交通ネットワーク確保・維持
- 戦略的なシティ・セールス
- 医療体制の充実（地域医療）
- 健康都市推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- 広域連携による持続可能な地域づくり

4 総合戦略の推進 …P24

P D C A サイクルの構築・推進体制・取組効果の検証・戦略の見直し